

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ローマ 11:3-5 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 9番 聖なる、聖なる、聖なるかな
- *交読文 …… 28番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 174番 神の息よ
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:朴 執事 天声:小林伝道師
- 賛美 …… 303番 心は波打つ
- メッセージ …… 息子、娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る(使徒 2:17-21)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 …… 390番 たてよ、いざたて
- 幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

終末の日々に、わたしは全ての肉なる者の上にわたしの霊を注ぎ出す。すると、____の息子たちや娘たちは、数々の預言をするようになり、また____の青年たちは、数々の幻を見、また____の老人(長老)たちは、夢々を見るようになる。(使徒 2:17 林が訳す)

「悔い改めなさい。そして、____が罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、____は聖霊の賜物を受けるであろう。この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわち____と、____の子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」。(使徒 2:38-39)

恐れてはいけなさい。しっかり立って、きょう、____のために行なわれる主の救いを見なさい。____は、きょう見るエジプト人をもはや永久に見ることはできない。主が____のために戦われる。____は黙っていなければならない。(出エジプト記 14:13-14)

「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は____とともにおられる、という意味である。)(マタイ 1:23)

8月のカレンダー聖句は使徒 2:17である。「そして神は言われる、終末の日々に、わたしは全ての肉なる者の上にわたしの霊を注ぎ出す。すると、あなた達の息子たちや娘たちは、数々の預言をするようになり、またあなた達の青年たちは、数々の幻を見、またあなた達の老人(長老)たちは、夢々を見るようになる。」この言葉は最初、終わりの時代に起きる事の「預言」として旧約ヨエル書で示されたが、使徒の時代、イエス様が弟子達に約束しておられた聖霊が注がれた時、ペテロはその出来事がヨエル書の預言の成就であると宣言した。それ以降、主の御名を呼び求める全ての肉なる者に、主の霊が注がれる時代に入った。それは今を生きる私達にも当然、適用されるものであり、私達も主の御名を呼び求めるなら、私達のところにいる息子、娘、若者、年寄り達にも、主の霊が注がれるのだ。主の霊は、どのような力があるのだろう。

聖書における「霊」は、「息吹」「風」という意味も持っているが、主の霊は、主が創造された世界に満ちており、暗闇と混沌の上を覆っていた(創世記 1:1-2)。主が、”ちり”に過ぎなかったものに息を吹きかけられると、それはいのちあるものとなった(創世記 2:7)。殺され、干からびた骨になってしまった者に、主の霊(息)が吹きかけられると、筋がつき、肉がつき、生き返って大軍団となった。主の霊には、偉大な力があるのだ。ペテロもかつては、イエス様の名前を3度も否んだが、彼は主の霊に押し出され(ヒステミー)、語り出した時、もはや弱気な彼はどこかに行ってしまう、勇気と大胆さに充滿した(14節)。その時彼は齒に衣着せず、「あなたがたが、神がキリストとされた主イエスを、十字架につけたのです！」と宣言し、何千もの人々は心刺され、悔い改めた。おくびょうな者は大胆な者に、伝道できなかった者は大いに伝える者になるのだ！

そのような御言葉の約束と裏付けがあるからには、終わりの時代を生きる私達は、預言を語る事のできる息子・娘たちを育て上げ、幻やビジョンを見れる若者を育て上げ、夢が見れる老人を建て上げ、しもべにも、はしためさえも、預言できる、そういうようなコミュニティを建て上げて行くのが、御心にかかった事である。「預言」という漢字は、神の言葉を「預」かり、「言」う、と書く。だから私達はコミュニティをつくり、彼らをテフィリンを通して御言葉で固め、神の言葉を代弁する集団に育てていくのだ。コミュニティ全体が、子供も若者も年寄りも、それぞれ御言葉を宣言するなら、そのコミュニティが新しい時代をつくって行くようになる。

エリヤの時代、彼は主の霊に突き動かされ、強烈に働き、主の大きなしるしも起こしたが、それでもイスラエルは、立ち返らなかった。どんなに働いても効果が無い事に絶望した彼は、死を願ったが、主が彼を立ち直らせた後、主は彼に、次世代を建てあげる働きへと導いた。主はエリヤに、「ダマスコのハザエルに油を注いで王とせよ」と命じられたが、ハザエルを王としたのはエリヤではなく、後継者のエリシャだった。主は、「ニムシの子エフーに油を注いで王とせよ」と言われたが、ニムシの子エフーに油を注いだのは、エリシャに仕える若者の一人だった(2列王記 9章)。エリヤが天に上げられる時、彼の周りには、多くの「預言者のともがら」がいたが、リビングバイブルでは「預言者学校の生徒」と訳されている(2列王記 2:3-5)。

エリヤは、一人で偉大な働きをした時は、時代は変わらなかった。しかし彼が、主の言葉を宣言する「預言者学校」をつくり、主の霊に息吹かれた次世代を育んだ結果、その彼らが時代を変えるようになった。

主は現代も、「バアルにひざをかかめない7千人」を日本に、世界に残しておられる。ゆえに私達は、この時代、エリヤのように、御言葉を宣言し暗唱する学校をつくり、生徒たちを主にある働き人として育て上げ、主の使命をもってこの時代に働き、主の栄光を届ける「時代の主人公」を育て上げていくのである。

主の霊が注がれる息子たち、娘たち、若者たち、老人たちを建てあげるためには、私達も使徒たちに習うべきである。使徒時代、聖霊が与えられた彼らは、同じ所で同じ合意をもって集まっていた。同じ主を信じ、同じ愛を持ち、主の約束に同じ信頼を持ちつつ、時間を共有し、持ち物を共有し、食事を共にし、祈りに専念し、同じ霊の養いを受けていた。ある者達は待ちきれずに去っていったが、最後まで共に待ち望んでいた聖徒たちに、聖霊が降った。私達も、彼らにならい、共に養いを受けながら、その時を待つのである。今この時、主の御名を呼び求める集いから離れず、同じ養いを受け、息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る働きを建て上げていく私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

